



# 平成30年度 医師向けの災害医療研修（セクション1）



## ◆ 受講者数

会場名	高知大学	幡多会場
受講者数	65人	29人
うち、医師	18人	6人

## ◆ アンケート結果 回答率 70.8% (46/65) ※高知大学会場のみ実施

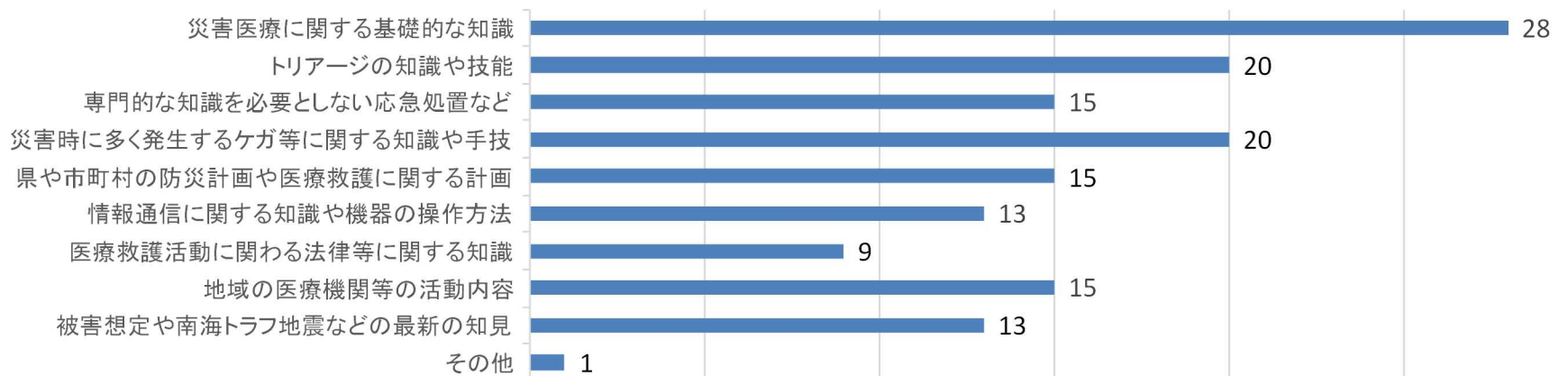
Q1 職種：医師 11人 (23.9%)、看護師・准看護師 8人 (17.4%)、保健師 2人 (4.3%)、  
薬剤師 3人 (6.5%)、事務員 7人 (15.2%)、その他 15人 (32.6%)

Q2 勤務先：医療機関 15人 (32.6%)、大学・大学院 15人 (32.6%)、行政機関 13人 (28.3%)、福祉施設 3人 (6.5%)、

Q3 「医師向け災害医療研修」のことを知っていたか：知っていた 20名(43.5%)、知らなかった 26名 (56.5%)

Q4 今までに「医師向け災害医療研修」を受講したことがあるか：ある 7名(15.2%)、ない 39名(84.8%)  
(ある→参加したセクション：S1 3名、S2 3名、S3 5名、S4 5名)

Q5 もし貴方が南海トラフ地震などの大規模災害時に医療救護活動に参加するとしたら、あらかじめどのような知識や技能などを得ておく必要があると思いますか？（複数回答可）



単位：人

## Q6 その他意見や要望

- ・県での災害時の計画を聞き、改めて色々な部署での連携が大切だと思った。まずは自分の命を守ることが大切なんだと強く感じました。（その他学生）
- ・このような機会を増やしていただきたい。（看護師・准看護師）
- ・災害医療研修を地域の薬局などにも教えて頂きたい。（薬剤師）
- ・体験談を聞くことでやらなければいけない事がはっきりして来ました。（看護師・准看護師）

### ◆研修の様子



# 平成30年度 医師向けの災害医療研修（セクション2）



## ◆ 受講者数

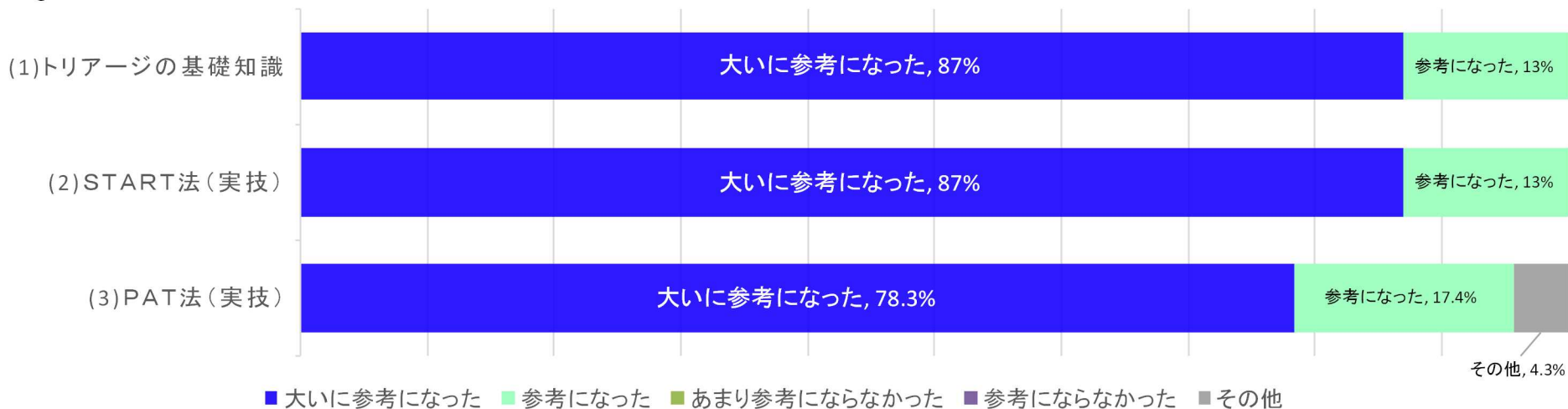
会場名	高知市会場
受講者数	23人
うち、医師	13人

## ◆ アンケート結果 回答率 100% (23/23)

Q1 職種：医師 13人 (56.5%)、看護師・准看護師 8人 (34.8%)、その他 2人 (8.7%)

Q2 年齢層：30代 3人 (13%)、40代 6人 (26.1%)、50代 5人 (21.7%)  
60代 5人 (21.7%)、70歳以上 4人 (16.7%)

## Q3 研修内容について



Q 4 実技研修のグループの人数について

「もっと多くてよかった」 (4.3%)

「ちょうどよかった」 (95.7%)

※実技研修のグループ分け

トリアージの実技研修については、受講者を**1グループ当たり2～4人程度**に分けて実施した。各グループにDMAT隊員をファシリテーター及び傷病者役として1名ずつ配置し、指導にあたった。

Q 5 研修時間について

「長かった」 (8.7%)、「ちょうどよかった」 (82.6%)、「短かった」 (8.7%)

※研修時間

研修時間は、全体で2時間（講義：約20分、実技：約90分）

Q 6 自由記載（抜粋）

- ・トリアージをスピーディに正確に行うには繰り返しの訓練が必要だと思うので今回以外にも教えて頂ける機会があれば情報がほしいです。（30代 医師）
- ・トリアージタッグの特記事項が一番見易い、選別トリアージの疑病名が記載出来るとよい。（70代 医師）
- ・PATまでやった研修に参加したことがなく、とても難しく感じました。やってみて良かったです。（40代 看護師）
- ・繰り返し開催（定期的）していただきたい。（40代 その他）
- ・以前と同じ内容だったが、毎年1回は復習してもいいと思う。（40代 看護師）
- ・事務職ですが、ファシリテーターの方や同グループの先生方に教えて頂きながら実技をしましたが、大変良い経験をさせていただきました。（40代 事務）

◆研修の様子





# 平成30年度 医師向けの災害医療研修（セクション3）



## ◆ 受講者数

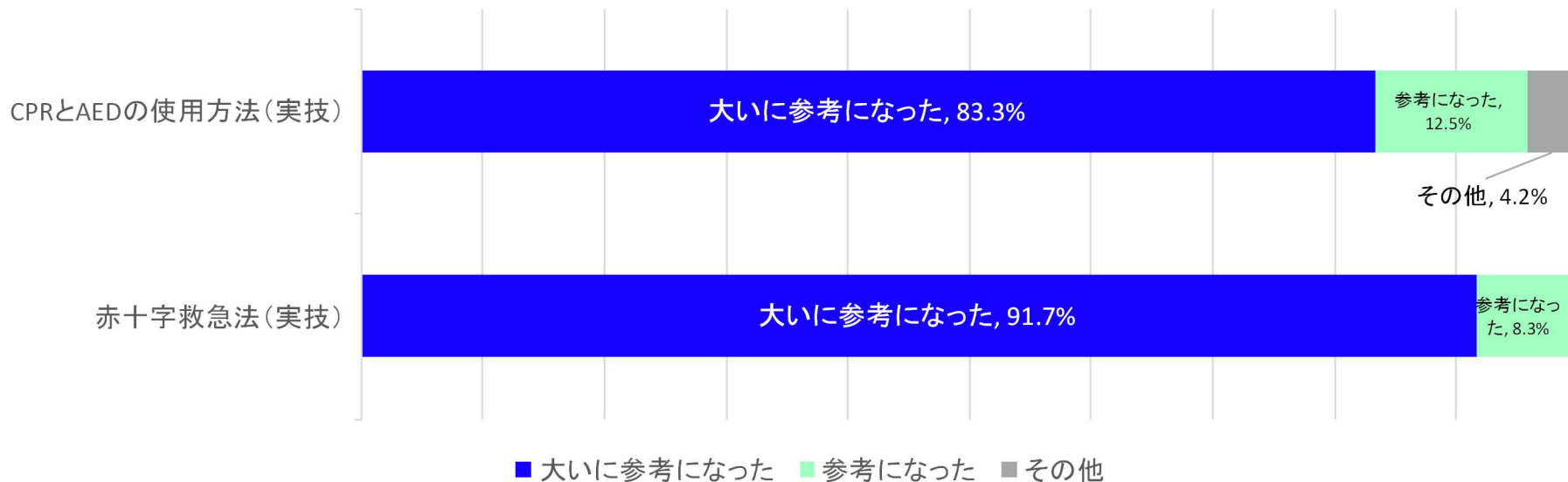
会場名	高知市会場
受講者数	24人
うち、医師	15人

## ◆ アンケート結果 回答率 100% (24/24)

Q1 職種：医師 15人 (62.5%)、看護師・准看護師 7人 (29.2%)、その他 2人 (8.3%)

Q2 年齢層：20代 1人 (4.2%)、30代 3人 (12.5%)、40代 8人 (33.3%)、50代 5人 (20.8%)、60代 5人 (20.8%)、70歳以上 2人 (8.3%)

## Q3 研修内容について



#### Q 4 研修時間について

「長かった」 (21.7%)、「ちょうどよかった」 (73.9%)、「短かった」 (4.3%)

#### Q 5 自由記載 (抜粋)

- ・また別の固定法、圧迫法も学びたい。(40代 医師)
- ・何度も訓練していてもやらなければ時間とともに忘れてしまうのだなと思いました。三角巾やラップでの包帯や固定方法は全く知らなかったので大変勉強になりました。(30代 医師)
- ・非常に実践的で楽しかったです。(20代 学生)
- ・実際に自分の体を使って動作をすることで大変良かったと思います。(60代 看護師)
- ・理論的ですがすぐ使える実技研修ありがとうございました。(50代 医師)
- ・日常では使った事のない三角巾やラップを用いての包帯法など非常時に役立つ方法を教えて頂いてありがとうございました。(20代 看護師)
- ・もっといろいろ教わりたいです。  
(40代 医師 ほか)

#### ◆研修の様子



# 平成30年度 医師向けの災害医療研修（セクション4）



## ◆ 受講者数

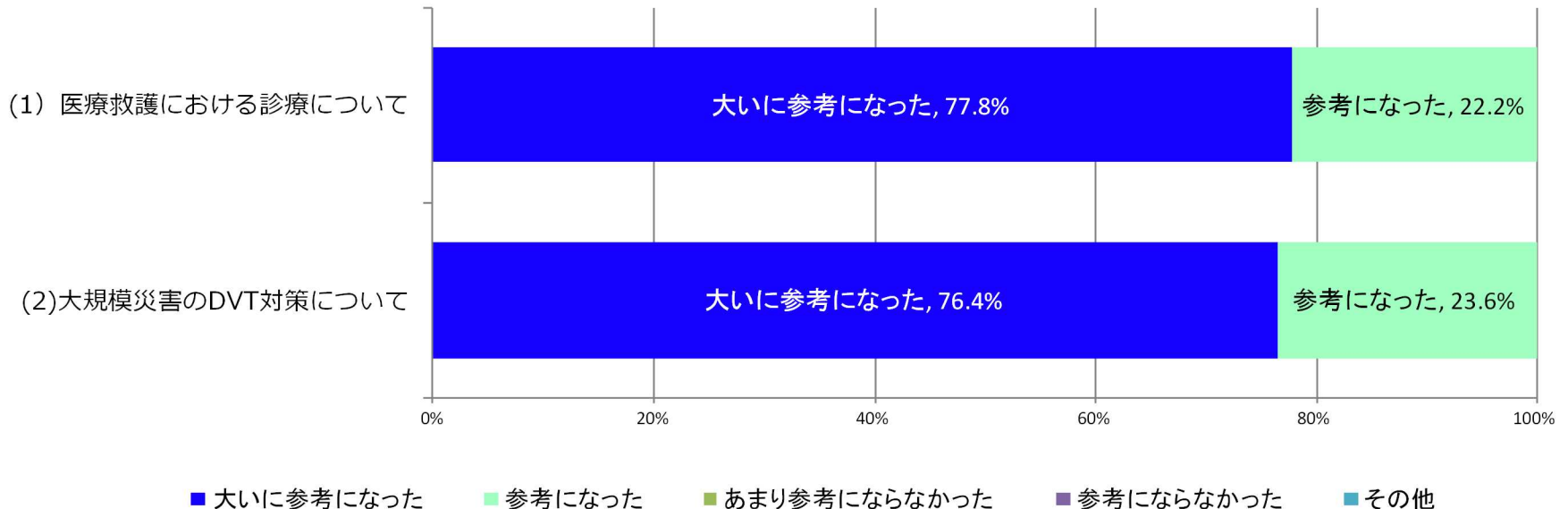
会場名	南国会場	伊野会場	須崎会場	幡多会場	合計
受講者数	17人	23人	14人	25人	79人
うち、医師	11人	9人	8人	8人	36人

## ◆ アンケート結果 回答率 91.1% (72/79)

Q1 職種：医師 33人 (45.8%)、看護師・准看護師 26人 (36.1%)、その他13人 (18.1%)

Q2 年齢層：20代 2人 (2.8%)、30代 6人 (8.3%)、40代 20人 (27.8%)、50代 8人 (11.1%)、60代 8人 (11.1%)、70歳以上 9人 (12.5%)

## Q3 研修内容について



#### Q 4 研修時間について

「長かった」4人(5.6%)、「ちょうど良かった」67人(93.1%)、「短かった」1人(1.4%)

※研修時間  
研修時間は全体で2時間

#### Q 5 自由記載(抜粋)

- ・とても勉強になりました。もっとたくさんの方に聞いてもらえるチャンスがあれば良いと思います。(50代 看護師)
- ・多くの医師に聞いてもらって理解してほしい。もっと何度も行なってほしい。  
新しい情報や知っておくべきことがとてもたくさんあった。(50代 理学療法士)
- ・今回受講されていないDrへ周知しては?一度はこのセクションの受講が必要と思いました(60代 医師)
- ・救護病院での役割、準備など普段介護、医療の病院が救護病院になったとき、どのようなことを考え準備したら良いか気になりました。(40代 看護師)

#### ◆研修の様子

